

“他人と比較することの意味…”

何年か前に SMAP の“世界に一つだけの花”という歌がありました。この歌には、“もともと特別な only one”等、人は違って当たり前、比較すること自体がどうなのか？ということ問いかける言葉が並んでいます。今は、『多様性を認める』時代であり、この歌は、今の時代に最も合っている歌ではないかと思います。また、この『多様性を認める』は本校の校訓“未来貢献”を達成するための目標の1つでもあります。

他人との比較・・・一体なにをどうやって比べるのでしょうか？「テストの成績」「足の速さやスポーツができるかどうか」「歌が上手い、演奏が上手い」「美人？かわいい？」「イケメン」「性格」などでしょうか。こう並べてみるとどうでしょうか、「テストの成績」「足の速さやスポーツができるかどうか」「歌が上手い、演奏が上手い」は負けたくない相手がいれば比較することで自分の目標となり、モチベーションを上げることになりますが、あくまでも比較するのは自分自身とです。第三者が、他人をテストの成績がいい、悪いなどで判断するのは誰のためにもならないし、いじめにつながる考え方です。「美人？かわいい？」「イケメン」「性格」についても目標の人（尊敬できる人）に近づきたいと努力することはいいと思いますが、これもあくまで自分自身とです。第三者が、これらで他人を比較することは、とても失礼なことであり、人としてどうかと思いますし、やはりいじめにつながる考え方です。

他人と比較していいのは、自分自身を高めるとき、磨きたいとき、スキルをアップしたいときです。間違ってもしてはいけないのは、他人同士を比較する、他人をランク付けする、他人を下に見るために自分と比べることです。これらは上にも書きましたが、いじめにつながる考え方で、本校の目指す『多様性を認める』から大きく離れてしまいます。

今は、『多様性を認める』時代です。自分らしさをどう生かしていくかが大切なのです。目標を持つために他人と比べることはいいですが、他人と比べて落ち込んだり、自分自身をダメだと思ふ必要はありません。SMAP の“世界に一つだけの花”という歌にあるように、自分自身がもともと特別な only one なのですから。

12月になり、もうすぐダンス発表会があります。楽しみにしていることが3つあります。1つは、みんなの工夫を凝らしたダンスを見ることができること。2つ目は、今回は保護者の方、海外留学生の方の参加があること。そして3つ目は、ステージの発表者全員を決して馬鹿にすることなく、応援し、認める皆さんの姿を見ることです。

3つ目のことは、北中の良き伝統です。発表者が失敗しても優しく見守り、応援する雰囲気は今までの北中にあります。これが代々引き継がれているから今年もこのダンス発表会が開催できるのです。12月15日、この良き伝統を守る皆さんの姿、とても楽しみです。